

Attracting Tomorrow



2020年3月期通期決算説明会

TDK株式会社
広報グループ
2020年5月15日

- 2020年3月期 連結業績概要
専務執行役員 山西 哲司
- 2021年3月期 連結業績見通し
代表取締役社長 石黒 成直

2020年3月期 連結業績概要

専務執行役員
山西 哲司

米中関係の悪化により中国はじめ世界経済の減速が鮮明に。
第4四半期には新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、
各国の経済活動が停滞し、電子機器の生産、電子部品の需要に影響。

- 売上高は前期比1.4%減、営業利益は前期比9.2%減

- マクロ需要が厳しくなる中、二次電池が堅調に推移しエネルギー応用製品が増収増益を確保。

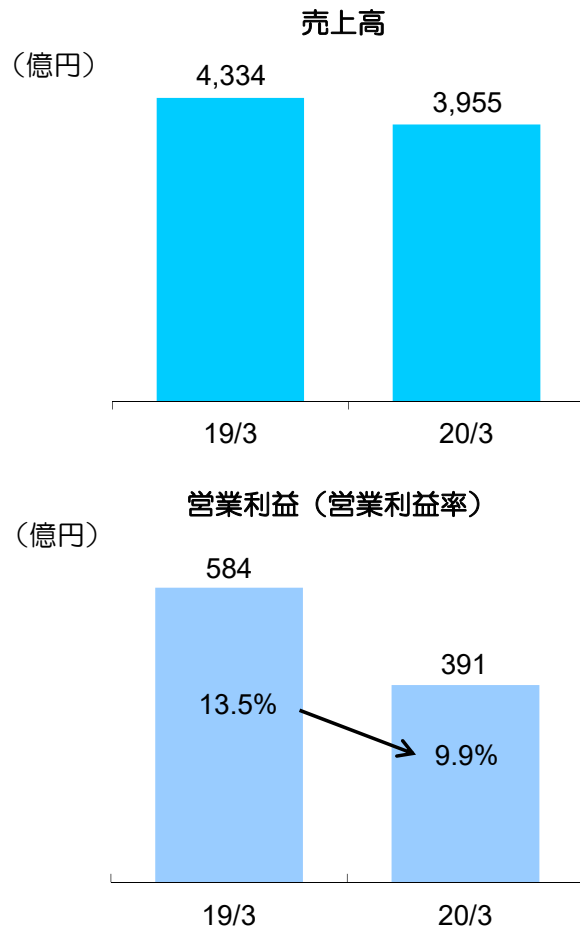
- 自動車市場及び産業機器市場の需要が低迷する一方、ICT市場向け売上が前期比で増加。
5G向け需要増加を背景に、二次電池、高周波部品等はスマートフォン・基地局向けの販売が
拡大し全社収益を牽引。

- 自動車市場及び産業機器市場における需要低迷の長期化によりマグネット、アルミコンデンサの
減損を計上。

2020年3月期 連結業績概要

	(億円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	前期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		13,818	13,630	△ 188	-1.4
営業利益		1,078	979	△ 99	-9.2
営業利益率		7.8%	7.2%	-0.6 pt	-
税引前利益		1,156	959	△ 197	-17.0
当期純利益		822	578	△ 244	-29.7
1株当たり利益 (円)		651.02	457.47	-	-
為替	対ドルレート (円)	110.94	108.82	1.9%の円高	
	対ユーロレート (円)	128.48	120.92	5.9%の円高	
為替変動による 影響金額		売上高：約407億円の減収 営業利益：約31億円の減益			

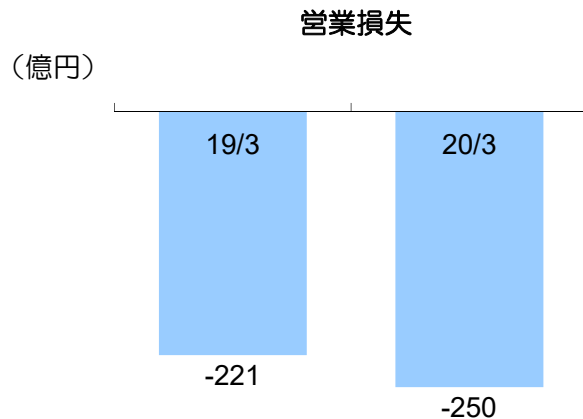
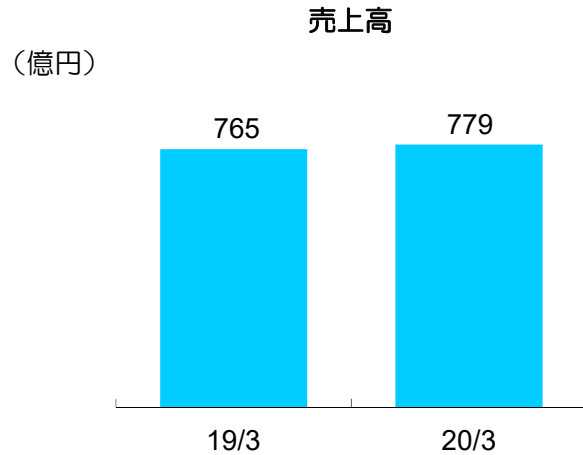
2020年3月期 各事業の状況（受動部品事業）



売上高 3,955億円（前期比8.7%減）
営業利益 391億円（前期比33.0%減）

- セラミックコンデンサ
 - 前期比で減収減益。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が増加。
 - 産業機器市場及び代理店向け販売は減少。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 前期比で減収減益。
 - 産業機器市場及び自動車市場向け販売が減少。
 - 第4四半期に減損を計上。
- インダクティブデバイス
 - 前期比で減収減益。
 - 自動車市場、産業機器市場及び代理店向け販売が減少。
- 高周波部品
 - 前期比で増収増益。
 - ICT市場（5G関連）向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前期比で減収減益。

2020年3月期 各事業の状況（センサ応用製品事業）

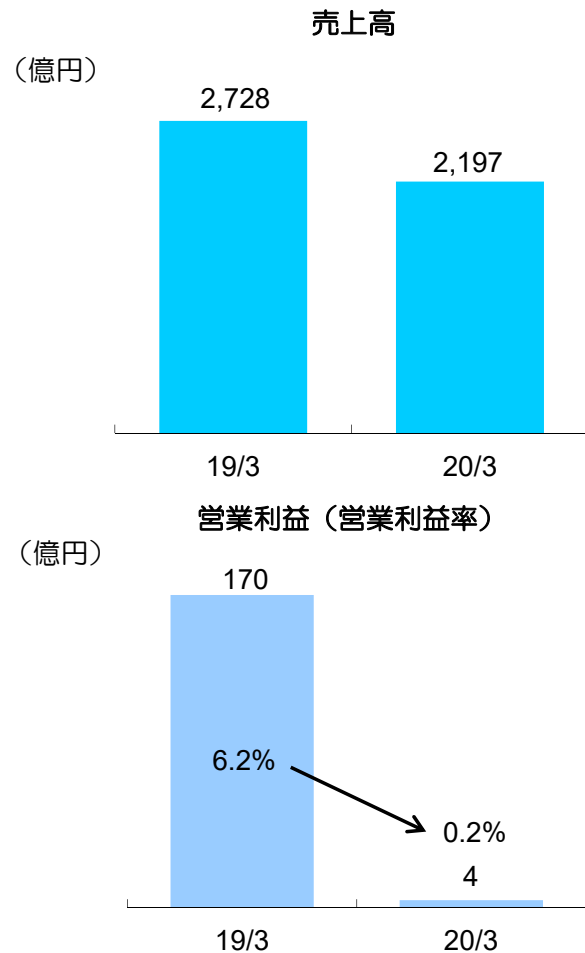


売上高 779億円（前期比1.8%増）
営業損失 Δ 250億円（前期比一%増）

● センサ

- コンベンショナル製品（温度・圧力センサ、ホールセンサ）の販売が自動車市場及び産業機器市場向けで減少し、収益も悪化。
- TMRセンサは、自動車市場及びICT市場向け販売が大幅に拡大し増益。
- MEMSセンサは、モーションセンサ及びMEMSマイクロフォンが、顧客基盤、アプリケーション基盤の拡大により販売が拡大。

2020年3月期 各事業の状況（磁気応用製品事業）

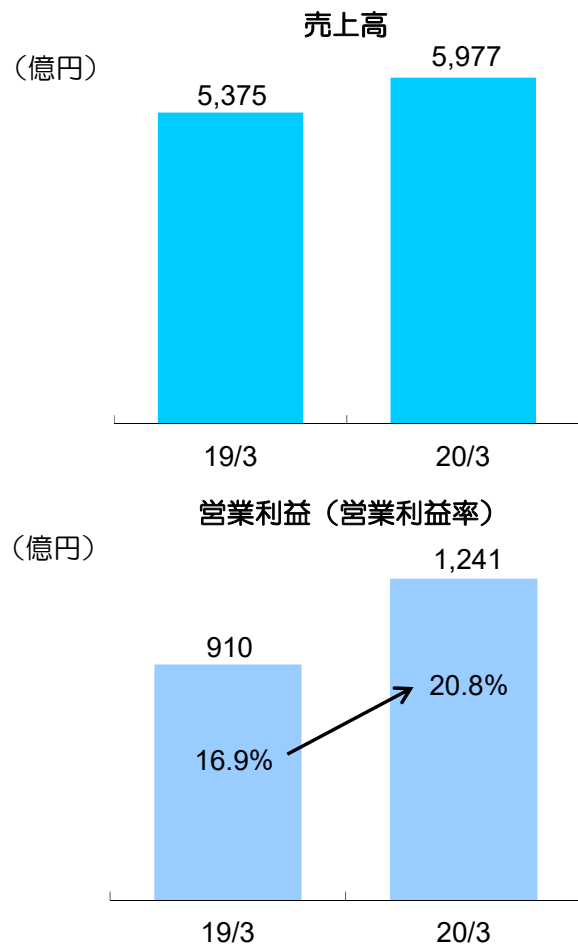


売上高 2,197億円（前期比19.5%減）
営業利益 4億円（前期比97.6%減）

- HDDヘッド・HDDサスペンション
 - HDD組立数量が前期比で大幅減も、HDDヘッドの収益性は改善。
 - HDDサスペンションの収益性も改善。
- マグネット
 - 前期比で減収減益。
 - 主に自動車市場及び産業機器市場向けの販売が減少。
 - 第4四半期に減損を計上。

2020年3月期 各事業の状況（エナジー応用製品事業）

Attracting Tomorrow



売上高 5,977億円（前期比11.2%増）
営業利益 1,241億円（前期比36.4%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - 前期比で増収増益。
 - モバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）向けの販売が好調に推移。
 - ゲーム機向けやミニセル製品の販売が拡大。
- 電源
 - 設備投資需要の落ち込みにより産業機器用電源は前期比で減収減益。
 - EV電源は減収減益。

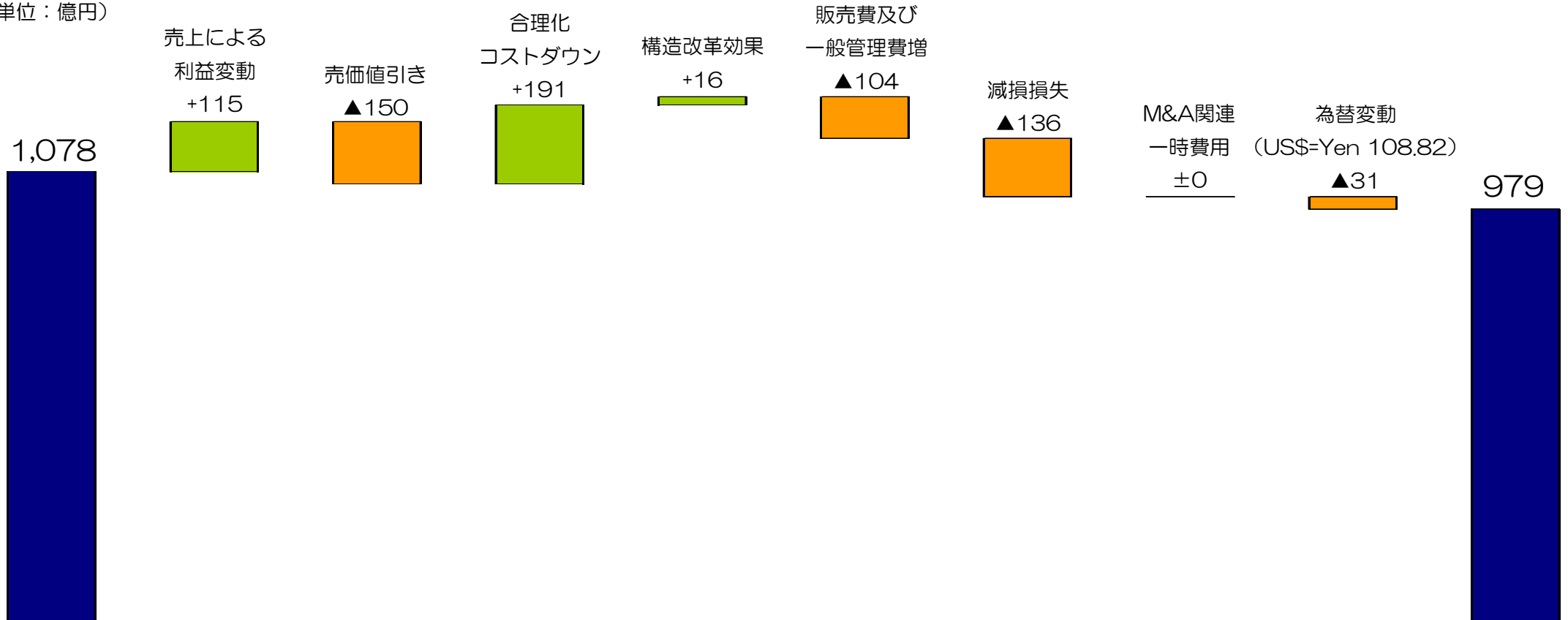
営業利益増減分析

2019年3月期
1,078億円

営業利益 ▲99億円

2020年3月期
979億円

(単位：億円)



2020年3月期 セグメント別四半期実績

(億円)		2019年3月期 第4四半期 (A)	2020年3月期 第3四半期 (B)	2020年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	423	373	377	△ 46	△ 10.9	4	1.1
	インダクティブデバイス	343	348	330	△ 13	△ 3.8	△ 18	△ 5.2
	その他受動部品	253	263	263	10	4.0	0	0.0
	受動部品合計	1,019	983	970	△ 49	△ 4.8	△ 13	△ 1.3
	センサ応用製品合計	173	203	187	14	8.1	△ 16	△ 7.9
	磁気応用製品合計	605	579	518	△ 87	△ 14.4	△ 61	△ 10.5
	エネルギー応用製品合計	1,118	1,612	1,183	65	5.8	△ 429	△ 26.6
	その他	176	179	145	△ 31	△ 17.6	△ 34	△ 19.0
	合計	3,091	3,556	3,004	△ 87	△ 2.8	△ 552	△ 15.5
営業利益	受動部品	133	106	67	△ 66	△ 49.6	△ 39	△ 36.8
	センサ応用製品	△ 72	△ 55	△ 70	2	-	△ 15	-
	磁気応用製品	48	52	△ 115	△ 163	-	△ 167	-
	エネルギー応用製品	121	405	147	26	21.5	△ 258	△ 63.7
	その他	△ 28	△ 25	△ 58	△ 30	-	△ 33	-
	小計	203	484	△ 30	△ 233	-	△ 514	-
	全社および消去	△ 74	△ 80	△ 84	△ 10	-	△ 4	-
	合計	129	404	△ 114	△ 243	-	△ 518	-
営業利益率	4.2%	11.4%	-	- pt	-	- pt	-	
為替	対ドルレート (円)	110.23	108.74	109.05				
	対ユーロレート (円)	125.18	120.34	120.32				

2021年3月期 連結業績見通し

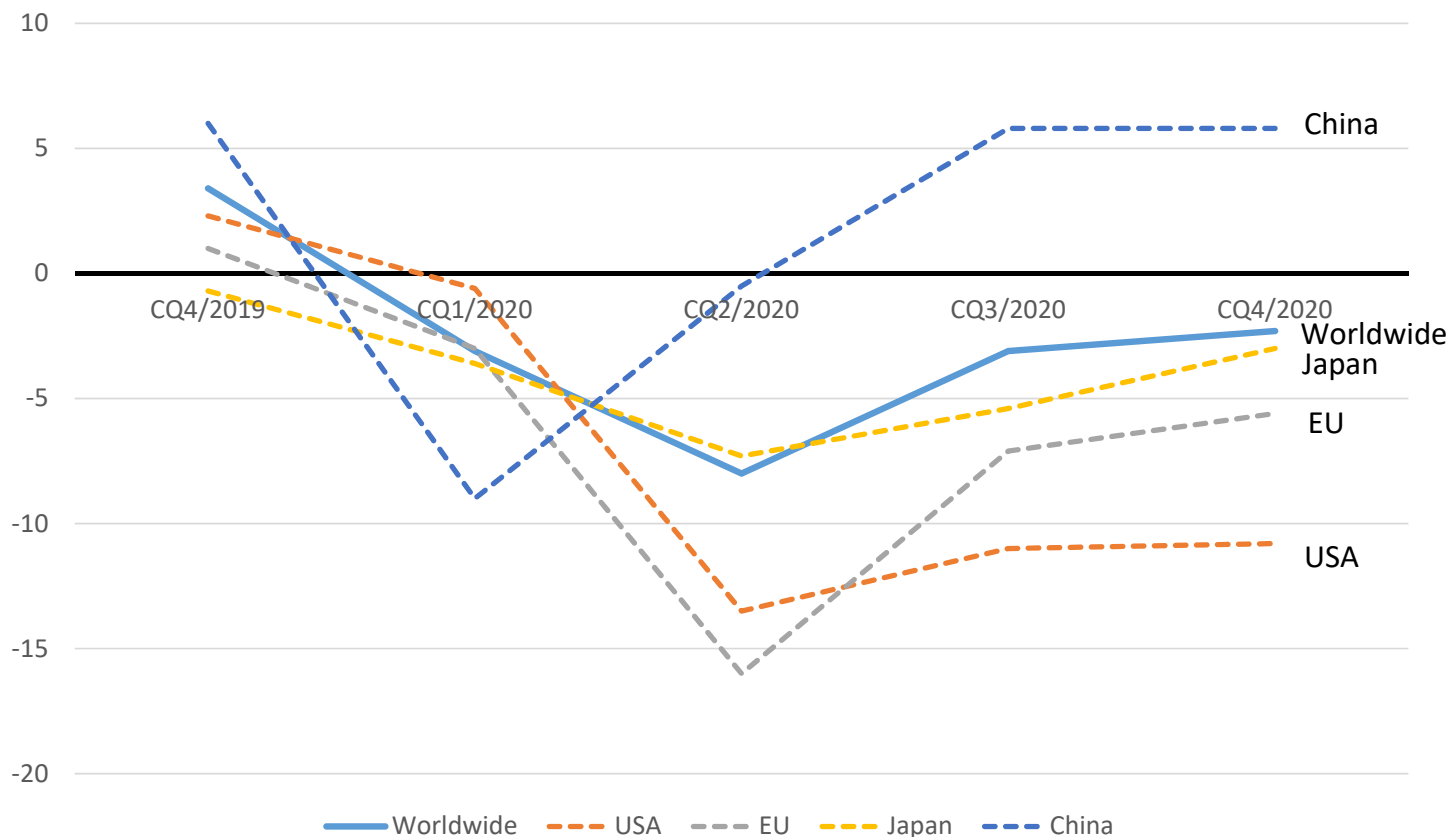
代表取締役社長
石黒 成直

Quarterly World GDP Growth

Attracting Tomorrow



YoY%	CQ4/2019	CQ1/2020	CQ2/2020	CQ3/2020	CQ4/2020	CY2020
Worldwide	+3.4	-3.1	-8.0	-3.1	-2.3	-4.0



(Source: Nomura Global Market Research)

2021年3月期の市場予測

Production Trend (Unit: Mil. unit)	FY2020	FY2021 (Y o Y)
Automobile*	87	75 (-14%)
<i>therein</i> xEV	4.4	4.9 (+11%)
Smartphone	1,365	1,240 (-9%)
<i>therein</i> 5G Smartphone	43	376 (x 9)
HDD	309	265 (-14%)
<i>therein</i> Nearline	56	62 (+10%)
Notebook PC	162	163 (+1%)
Tablet	122	127 (+5%)

*Automobileは商用車を含む台数

2021年3月期 通期連結売上高増減イメージ

(億円)

セグメント 区分	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想 (対前年比)
受動部品	3,955	△7～△10%
センサ応用製品	779	+8～+11%
磁気応用製品	2,197	△15～△18%
エネルギー応用製品	5,977	±0%
その他	723	—
合計	13,630	12,900

為替前提

為替レート \$/Yen

108.82

105.00

為替レート EURO/Yen

120.92

117.00

2021年3月期 連結業績及び配当金見通し

(億円)		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 業績予想 (2020年5月発表)	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高		13,630	12,900	△ 730	△ 5.4
営業利益		979	700	△ 279	△ 28.5
営業利益率		7.2%	5.4%	-1.8 pt	-
税引前利益		959	700	△ 259	△ 27.0
当期純利益		578	480	△ 98	△ 17.0
1株当たり利益(円)		457.47	379.99	-	-
配当金		上期：90円 下期：90円 年間：180円	上期：80円 下期：80円 年間：160円	-	-
為替	対ドルレート	108.82	105.00	-	-
	対ユーロレート	120.92	117.00	-	-
固定資産の取得 (設備投資)		1,734	1,800	66	3.8
減価償却費		1,250	1,400	150	12.0
研究開発費		1,175	1,200	25	2.1

2021年3月期 財務基盤の強化に向けて

中期財務戦略（2018年公表）

- 事業収益構造転換に向け実行した成長投資の確実な回収
- バランスのとれた資本配分に基づき、更なる成長投資を実行

バランスのとれた資本配分

- 成長投資
- 株主還元
- 有利子負債返済

フリーキャッシュフロー マイナス

フリーキャッシュフロー プラス

中期最終年度2021年3月期財務目標（2018年公表）

資本効率

- ・営業利益率 10%以上
- ・ROE 14%以上

株主還元

- ・一株当たり利益成長を通じ
配当の安定的な増加
- ・配当性向30%目途

財務の健全性

- ・株主資本比率50%以上
- ・ネットキャッシュ

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり財務体質改善は遅延
- 2021年3月期においてはフリーキャッシュフロープラスを維持しつつ将来成長に備える
 - 将来の収益拡大を期待できる成長投資を優先的に実施
 - 資金調達力を確保し財務基盤を強化
 - 株主還元は中期期間累計での配当性向30%を目途として実施

Internal

(自分がどう変わるか)

エネルギーEco企業になる

- 生産性の改善
- 徹底した省エネルギー施策推進
- 再生可能エネルギーへの転換

External

(社会をどう変えるか)

社会の省エネルギーに貢献する

- 高効率な電源装置と電源部品
- ノイズ・熱への対応製品
- センサの高度活用

低炭素社会実現への貢献

- EV関連製品
- 再生可能エネルギー発電装置（風力など）
- 家庭用蓄電装置
- 小型二次電池の活用

Internal

(自分がどう変わるか)

TDKをデジタル化する

- 生産活動のデジタル化 (Industry4.0推進)
- デジタルマーケティング
- デジタルコミュニケーションプラットフォーム統合

External

(社会をどう変えるか)

センシング・アクチュエーションでアナ⇔デジ変換

- 各種センサIC
- 各種アクチュエータ

通信ネットワークと小型化・利便性向上

- 5G対応高周波部品
- 小型・低背電子部品
- 先端の実装技術
- 省電力化

労働力不足への対応

- 自動化・ロボティクス部品
- ヘルスケア・ライフケア用途開拓

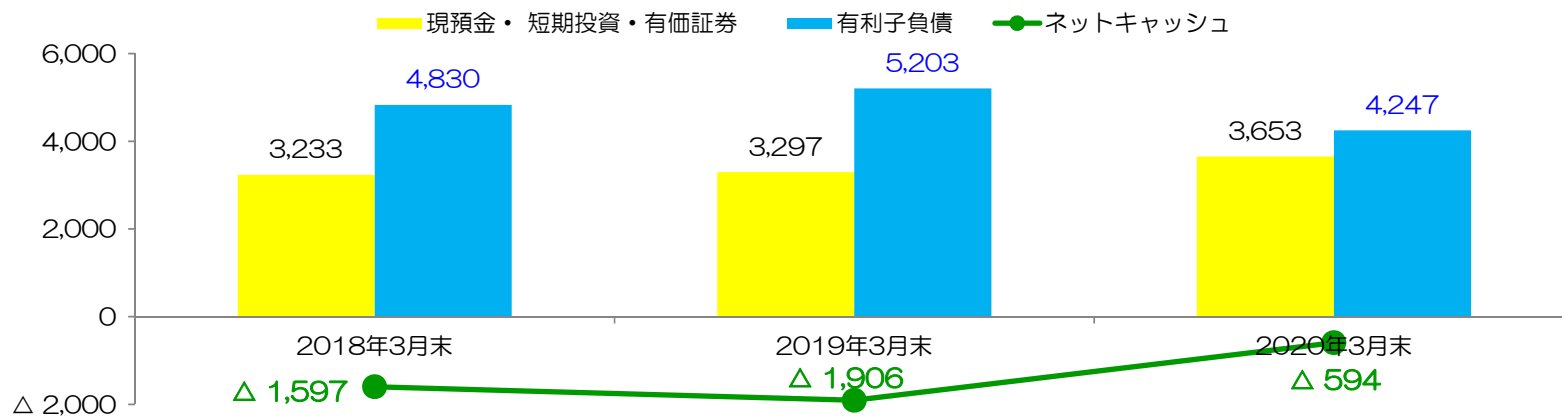
補足資料

財政状態

(億円)	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	対2019年比 増減
総資産	19,052	19,925	19,434	△491
負債合計	10,740	11,087	10,948	△139
株主資本	8,246	8,773	8,440	△333
（うち包括利益）	△1,195	△1,244	△1,901	△657
株主資本比率	43.3%	44.0%	43.4%	0.6 pt
現預金・短期投資・有価証券	3,233	3,297	3,653	356
有利子負債 (*1)	4,830	5,203	4,247	△956
ネット・キャッシュ (*2)	△1,597	△1,906	△594	1,312

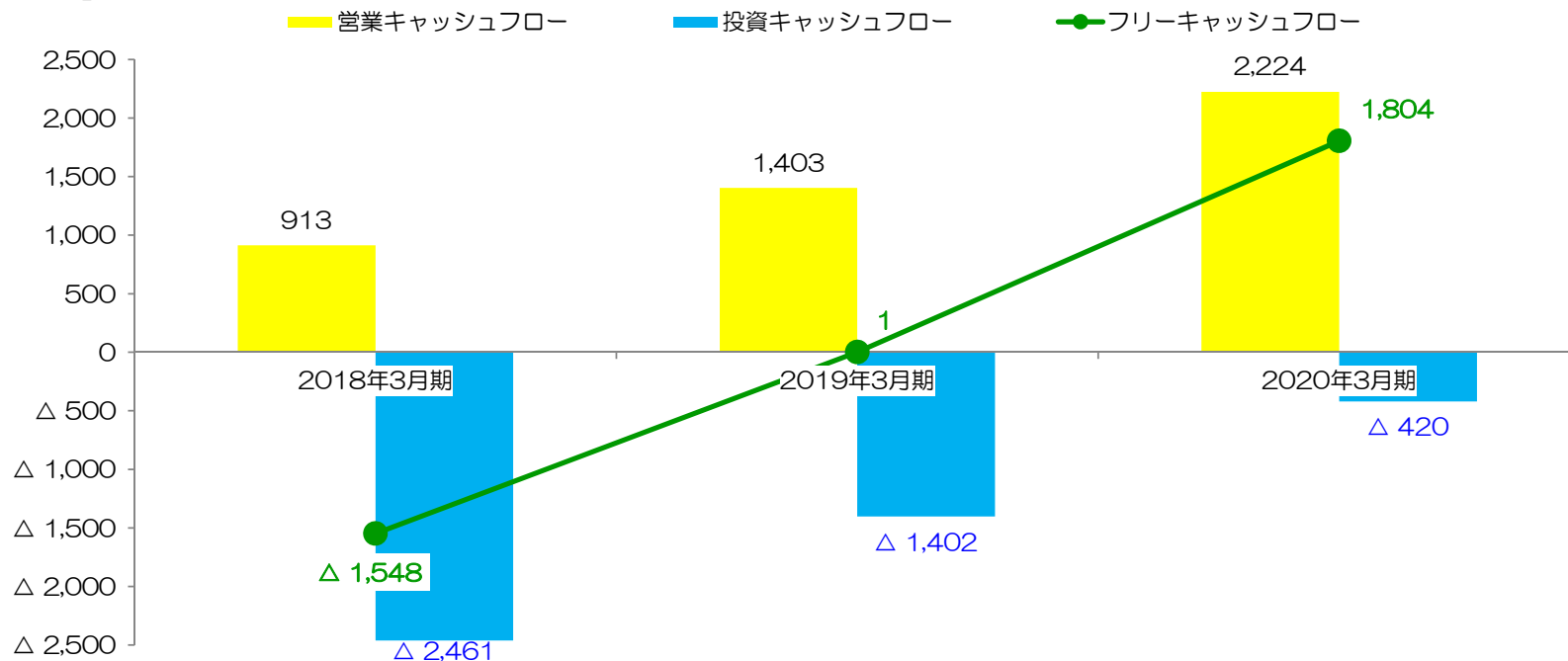
*1: 短期借入債務 + 一年以内返済予定の長期借入債務 + 長期借入債務 （オペレーティング・リース債務除く）

*2: 現預金・短期投資・有価証券 - 有利子負債



キャッシュフロー

単位：億円



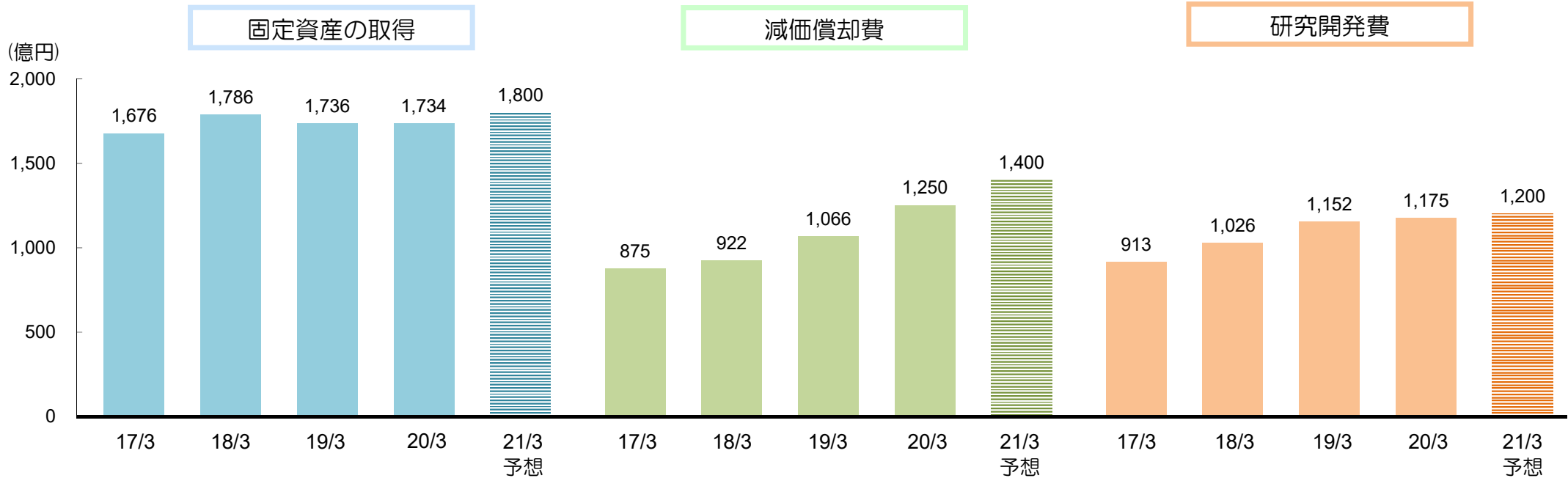
(億円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対2019年比 増減
固定資産の取得	1,786	1,736	1,734	△2
減価償却費	922	1,066	1,250	184

売上高及び営業利益の四半期推移

		2019年3月期					2020年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	445	439	427	423	1,733	393	396	373	377	1,539
	インダクティブデバイス	389	395	373	343	1,500	341	357	348	330	1,376
	その他受動部品	293	287	267	253	1,101	248	266	263	263	1,040
	受動部品合計	1,127	1,121	1,067	1,019	4,334	983	1,019	983	970	3,955
	センサ応用製品	189	206	197	173	765	181	208	203	187	779
	磁気応用製品	705	754	664	605	2,728	555	545	579	518	2,197
	エナジー応用製品合計	1,256	1,548	1,454	1,118	5,375	1,445	1,737	1,612	1,183	5,977
	その他	154	160	126	176	616	204	194	179	145	723
合計	3,431	3,789	3,508	3,091	13,818	3,368	3,702	3,556	3,004	13,630	
営業利益	受動部品	140	164	147	133	584	103	114	106	67	391
	センサ応用製品	△ 49	△ 46	△ 55	△ 72	△ 221	△ 70	△ 55	△ 55	△ 70	△ 250
	磁気応用製品	35	9	78	48	170	33	35	52	△ 115	4
	エナジー応用製品	210	333	246	121	910	265	425	405	147	1,241
	その他	△ 10	△ 17	△ 12	△ 28	△ 67	3	△ 6	△ 25	△ 58	△ 86
	小計	325	444	405	203	1,376	334	512	484	△ 30	1,300
	全社および消去	△ 71	△ 76	△ 77	△ 74	△ 298	△ 84	△ 73	△ 80	△ 84	△ 322
	合計	254	368	328	129	1,078	250	439	404	△ 114	979
為替	対ドルレート (円)	109.09	111.50	112.90	110.23	110.94	110.10	107.39	108.74	109.05	108.82
	対ユーロレート (円)	130.16	129.63	128.87	125.18	128.48	123.57	119.48	120.34	120.32	120.92

2021年3月期各種費用見通し及び為替感応度

各種費用

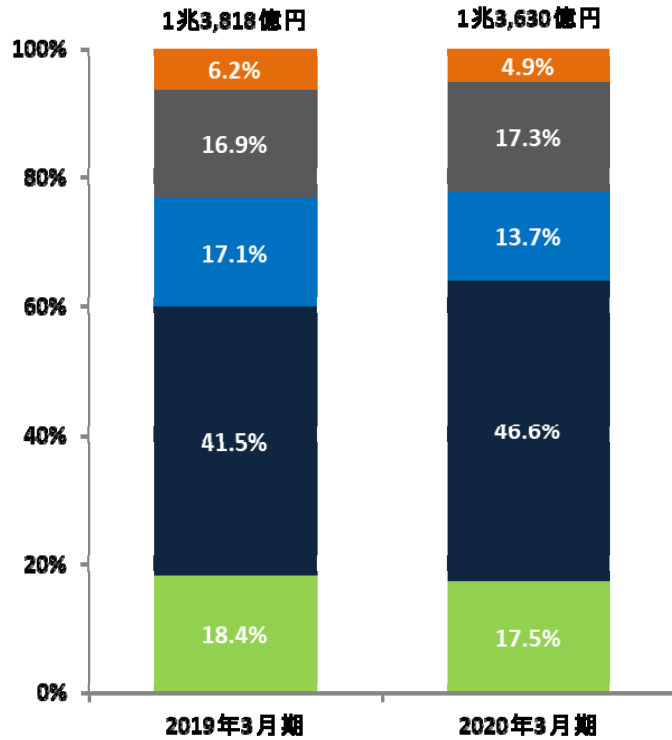


為替感応度（1円の変動による影響額）

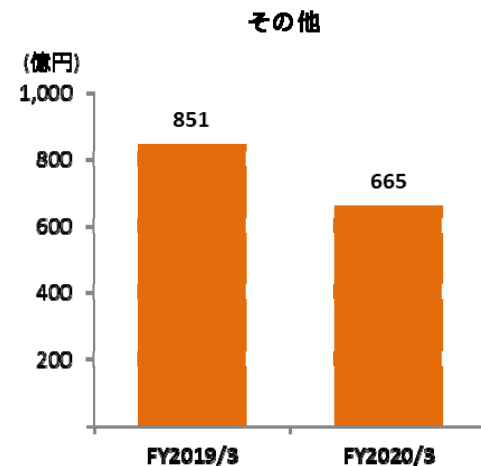
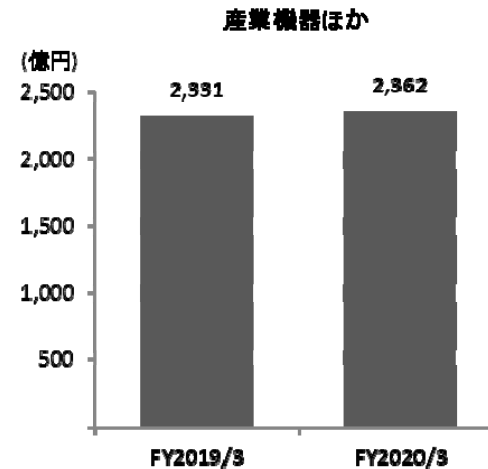
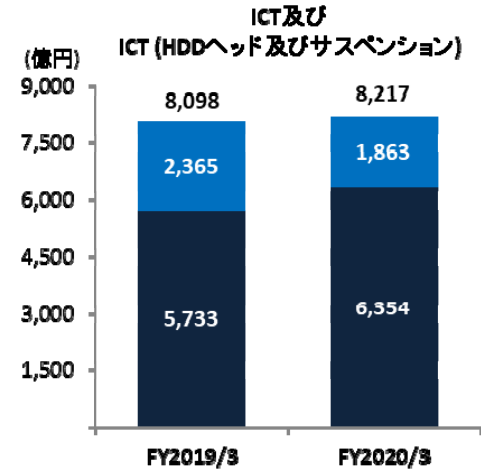
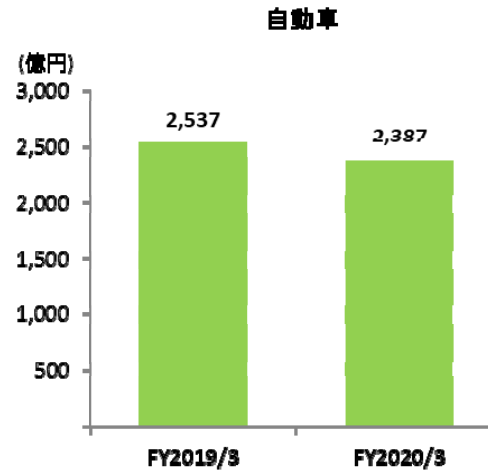
●ドル：売上70億円、営業利益12億円

●ユーロ：売上15億円、営業利益2億円

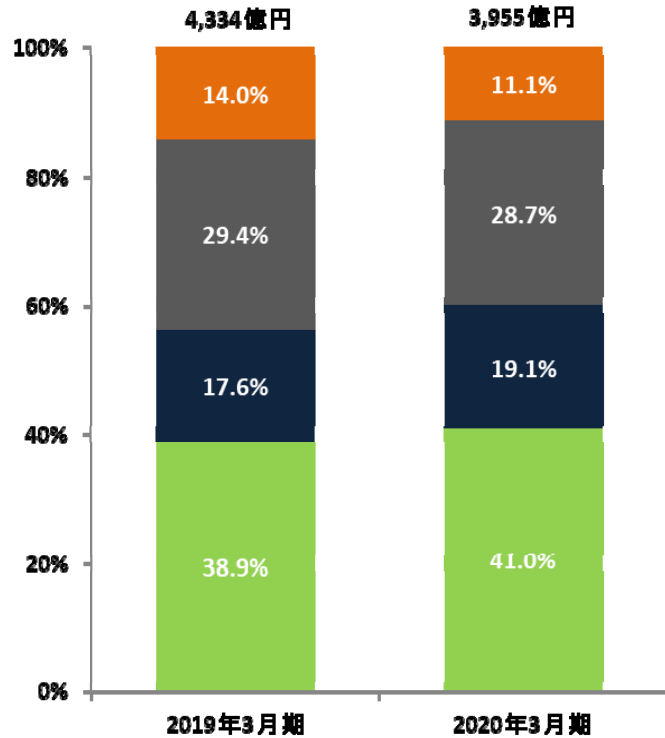
全社 分野別通期売上高推移 (2019年3月期～2020年3月期)



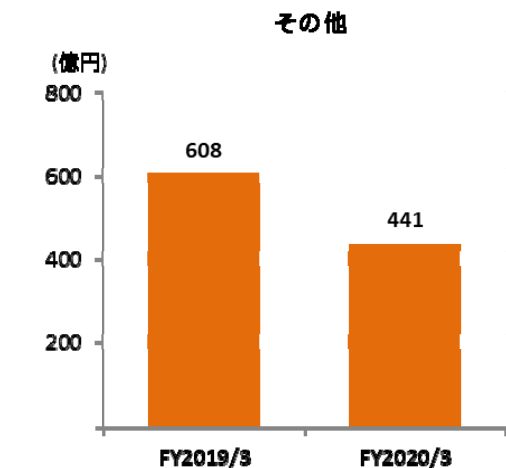
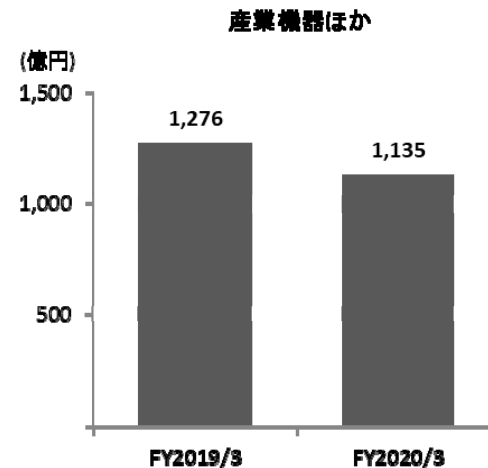
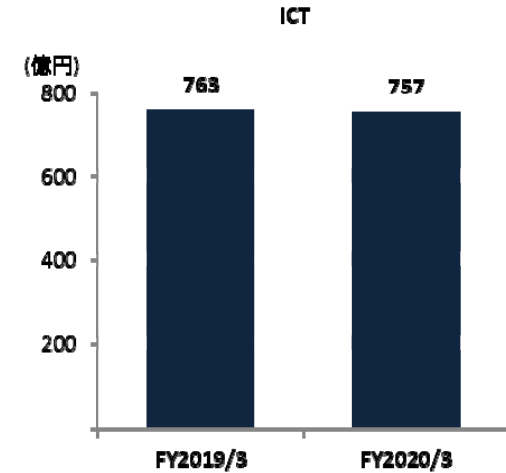
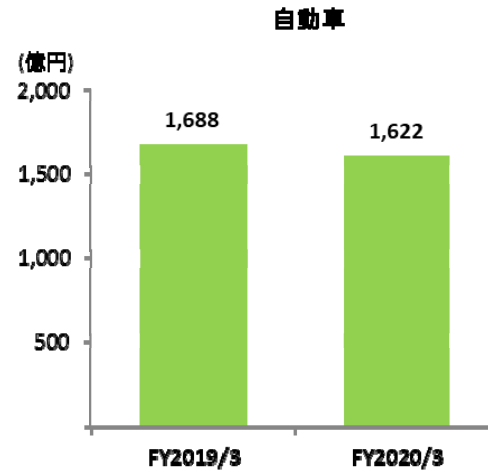
- その他
- 産業機器ほか
- ICT (HDDヘッド及びサスペンション)
- ICT
- 自動車



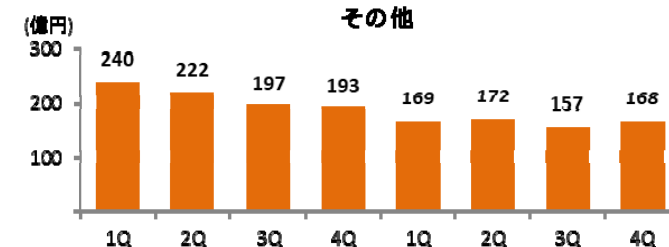
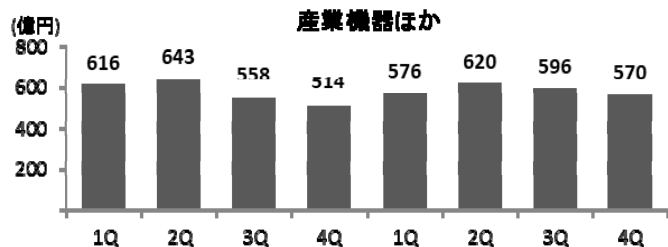
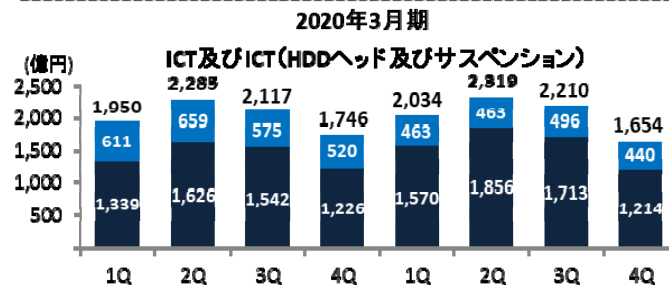
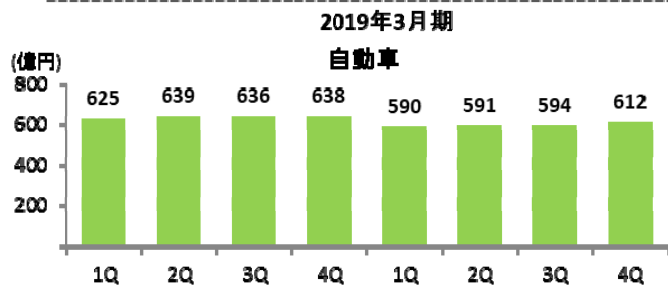
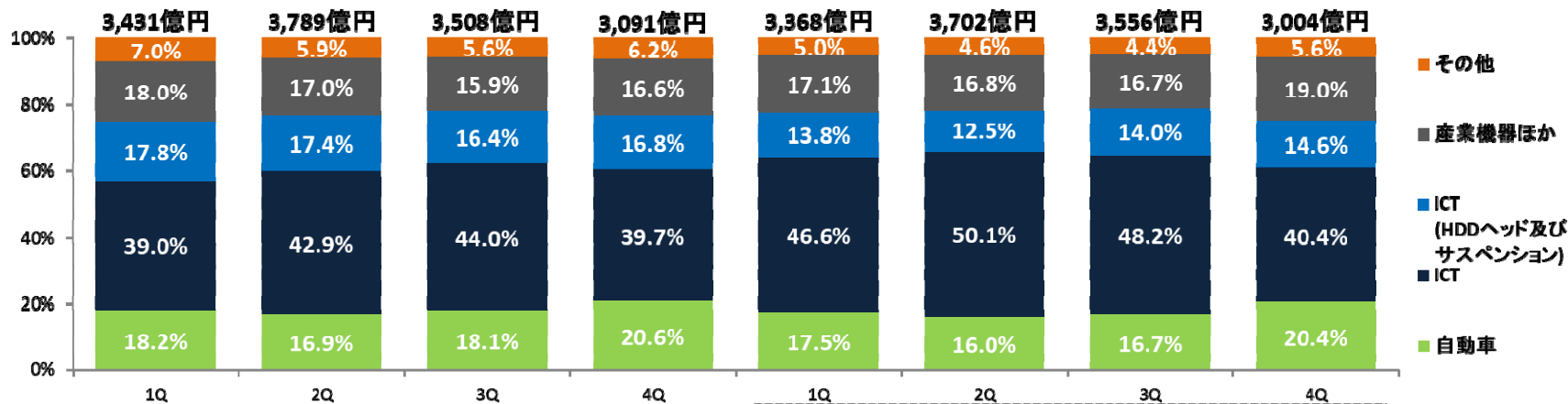
受動部品 分野別通期売上高推移 (2019年3月期～2020年3月期)



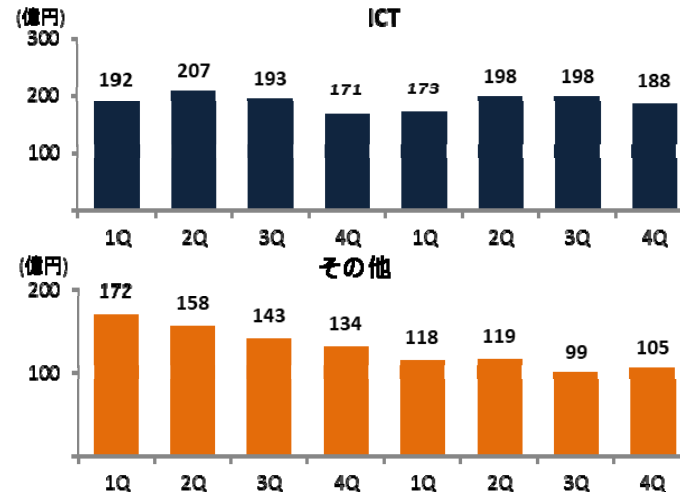
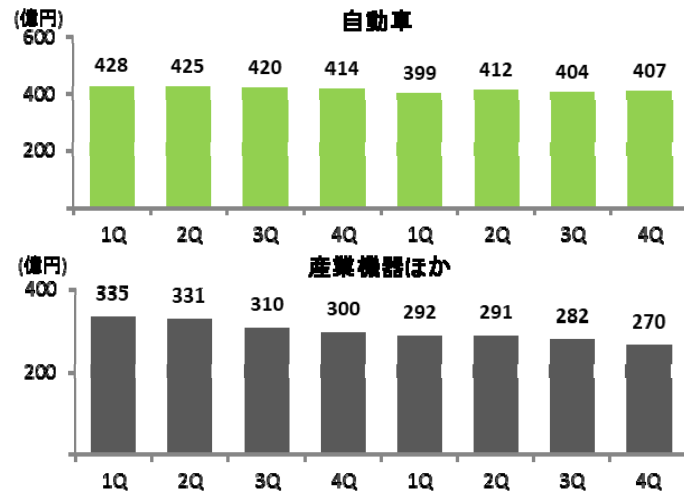
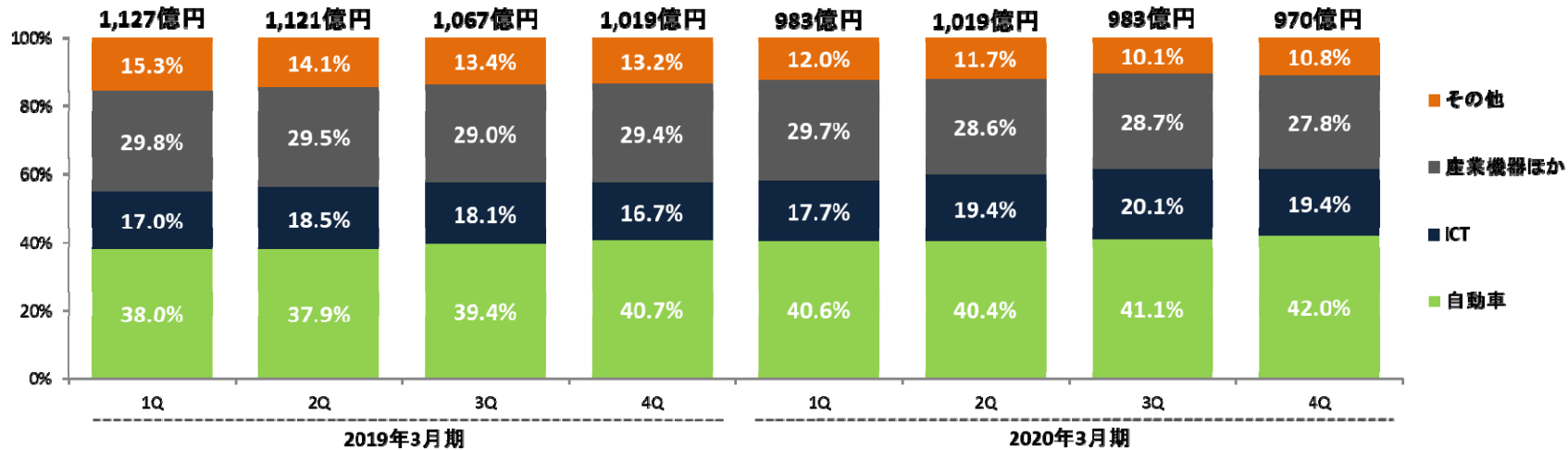
- その他
- 産業機器ほか
- ICT
- 自動車

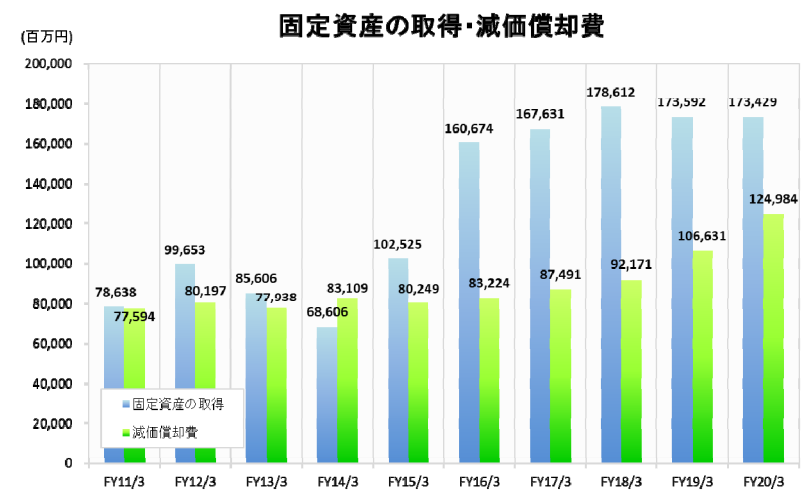
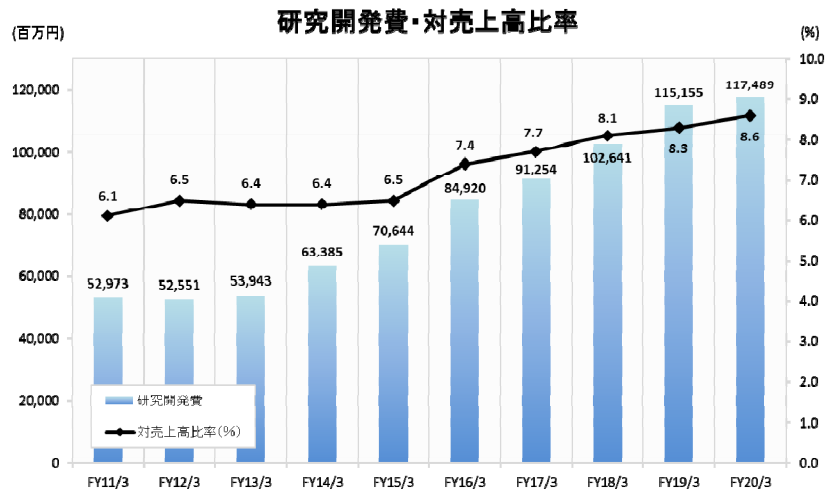
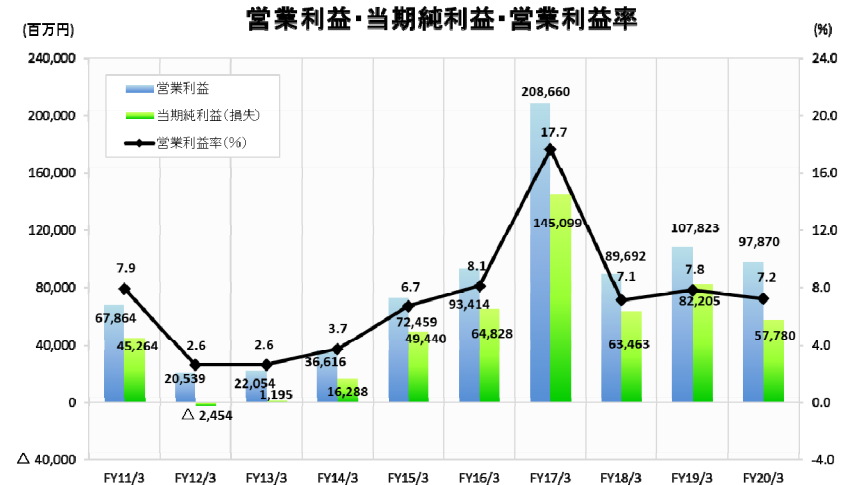
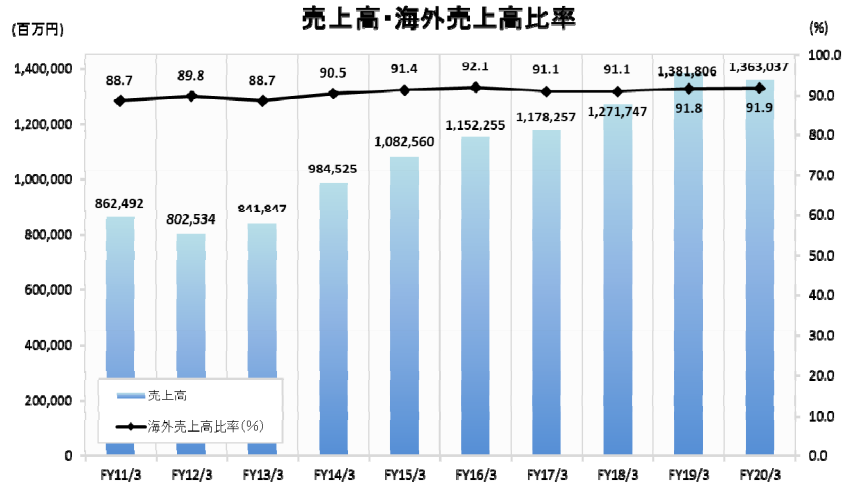


全社 分野別四半期売上高推移 (2019年3月期～2020年3月期)

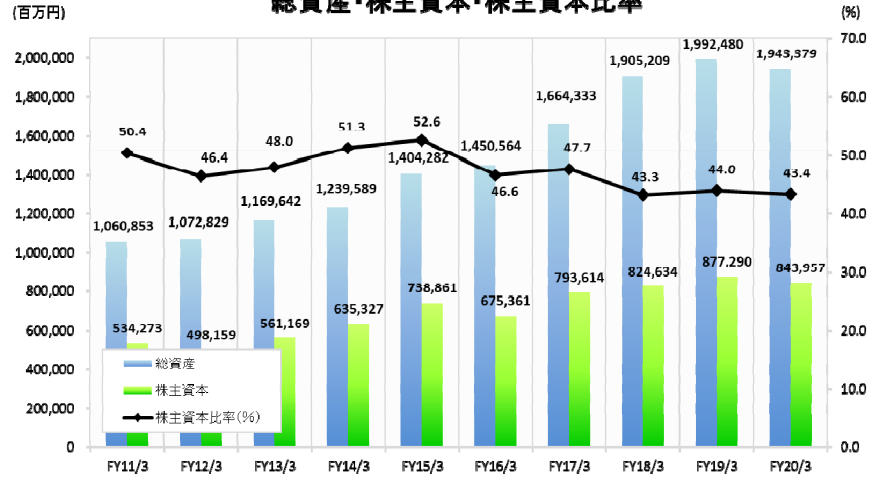


受動部品 分野別四半期売上高推移 (2019年3月期~2020年3月期)

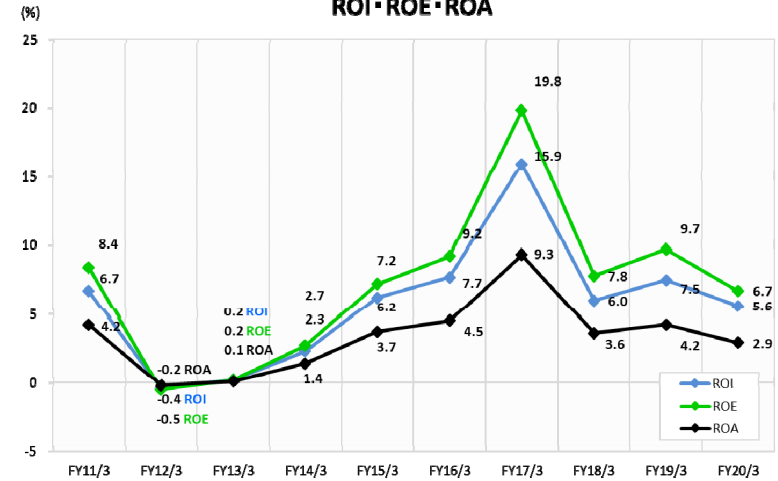




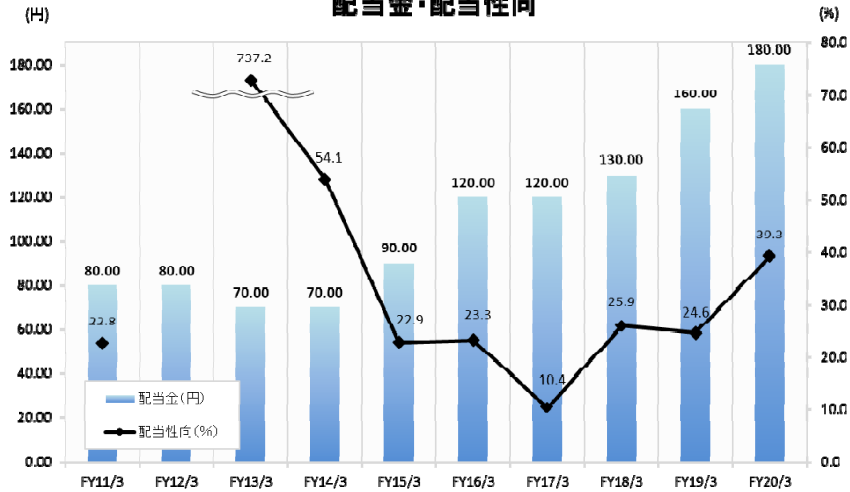
総資産・株主資本・株主資本比率



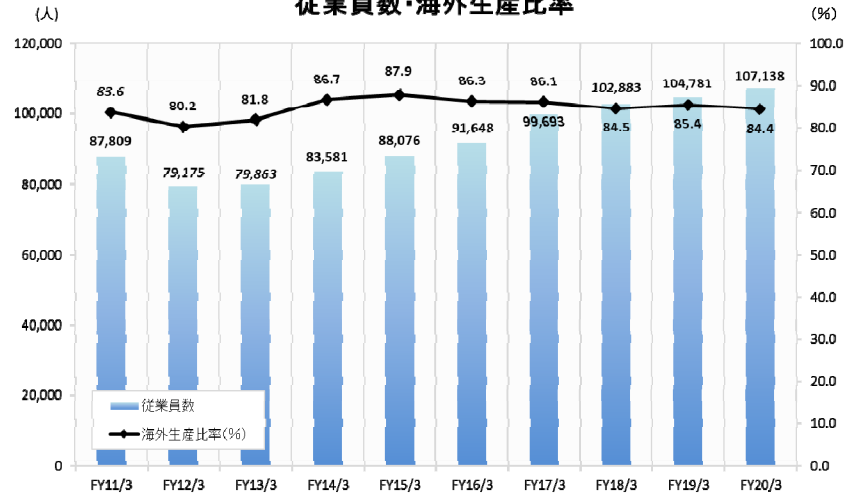
ROI・ROE・ROA



配当金・配当性向



従業員数・海外生産比率



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。
https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2020/4q_1.htm